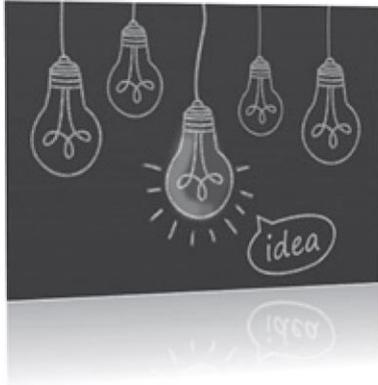


新たな挑戦で活路を

～新製品・新分野で今後の展開を探る～



人口減少、少子高齢化など日本経済の構造変化が進む中、激変する経営環境を先取りし、新たな挑戦で活路を見出す管内企業の事例を紹介する。



「人のぬくもり、木のぬくもり」を伝えていくことを使命に1926年に創業した(株)西尾木材工業所。創業当初は農作物を入れる木箱や機械部品を運搬する際の箱などを取扱ってきたが、現代代表者である西尾良一氏が大手ゼネコン勤務時代の経験を生かし、住宅分野に参入。1979年には子会社のウエストランパー(株)を木工事の専門施工会社として設立。両社でインバウンド需要で増加するホテルやマンション、介護

事例に学ぶ

「常に他より一歩前に進む」精神
で幅広い事業展開を図る

(株)西尾木材工業所

事業所や幼稚園などをターゲットに材料調達から加工、建築施工までの一貫した提案で高い顧客満足度を誇っている。

従来、施工作業現場では大工がカシナヤノコギリを用いて切断・加工を行っていたが、昨今の人手不足や熟練工の職人不足による建材切断・加工技術の低下、さらには作業後に発生する木くずなどのゴミ処理が問題となっていた。

これらの問題を解決するため、情報システムの整備と共に、建材を最適な長さに切断できるクロスカット機を導入し、事前加工。また、配送

この続きは会員事業所のみご覧いただけます